

# 令和2年度 北海道札幌月寒高等学校〔全日制〕 学校評価票（学校関係者評価）

■ 各評価項目・領域について、教職員による自己評価及び自己評価の適切さと学校関係者による評価を記載したものです。

【評価基準】「A」：そう思う 5点 「B」：だいたいそう思う 4点 「C」：あまり思えない 2点  
 「D」：思えない 1点 「N」：どちらとも言えない・わからない 0点

領域	番号	評価の項目	自己評価結果		自己評価の適切さ		改善点・改善の方策	自己評価の適切さの評価		学校関係者のご意見
			項目領域	項目領域	項目領域	項目領域		項目領域	項目領域	
I 学習指導	1	生徒の興味を喚起し、進路に応じた教育課程を編成・実施している。	3.9		4.3		<input type="checkbox"/> 主体的に学ぶ意欲を育む授業のあり方についての研修を推進する。 <input type="checkbox"/> 課題解決に向けて取り組む、体験的な学習の機会を推進し、達成感を育む機会の充実を図る。	4.6		○ 生徒の進路希望実現に向けて様々な支援に取り組んでもらいたい。 ○ 生徒には学ぶことの楽しさ、知ることの素晴らしさを感じてもらいたい。
	2	基礎・基本の定着と課題解決能力の伸長を図る学習指導が行われている。	4.2	<b>4.0</b>	4.4	<b>4.3</b>		4.6	<b>4.6</b>	
	3	授業の改善充実につとめ、視野を広め、学力を向上させる学習指導を展開している。	4.0		4.2			4.6		
II 生活指導	4	自主自立の校風の中で自己管理を促し、基本的な生活習慣の確立が図られている。	4.2		4.3		<input type="checkbox"/> 生徒会活動など、生徒が主体的に取り組む機会の充実を推進する。 <input type="checkbox"/> 社会の一員として必要なマナーや倫理観を特別活動や行事等を通じて身に付ける機会の充実を図る。	4.8		○ 生徒の様子から、互いの自主性を尊重し、高校生らしい、伸びやかな様子であることが感じられ、生活指導が生徒に行き届いていると感じられる。
	5	親和協力の精神で社会性を育み、規範意識の高揚につとめている。	4.1	<b>4.1</b>	4.4	<b>4.4</b>		4.8	<b>4.9</b>	
	6	部活動や生徒会行事は自主的かつ活発であり、校訓の実現に寄与している。	4.2		4.5			5.0		
III 進路指導	7	3年間を見通した系統的で継続的な指導を行い、進路意識の高揚につとめている。	3.9		4.2		<input type="checkbox"/> 大学入試制度の情報を確実に把握し、充実した進路指導で生徒に還元するとともに、生徒の進路希望実現につなげる。 <input type="checkbox"/> 自己の生き方あり方を深く考え、さまざまな課題を主体的に取り組む力を育むキャリア教育を推進する。	4.6		○ 計画的・系統的な進路指導の実施を期待している。 ○ 何事にも思い切って挑戦する。世界へ飛び出す。自ら課題にチャレンジする生き方指導を期待したい。
	8	充実した進路情報を適時に提供し、一人ひとりの確かな自己実現を図っている。	4.1	<b>4.0</b>	4.4	<b>4.3</b>		4.6	<b>4.6</b>	
	9	進路指導体制の充実につとめ、生徒や保護者の期待に答えて進路希望の実現を図っている。	4.0		4.4			4.6		
IV 健康安全指導	10	健康・安全の啓発活動を推進し、心身ともに健康な生徒の育成につとめている。	4.4		4.4		<input type="checkbox"/> 不登校や悩みを抱える生徒の現状を踏まえ、現代的な課題についても注視しながら教育相談体制や外部の専門機関との連携教科を図る。 <input type="checkbox"/> 保健だよりの内容を充実させるなど、生徒の健康に対する意識の啓発を図る。	5.0		○ 生命の教育、性の教育、ジェンダーなど、今日的な教育にも取り組んでいただきたい。 ○ 保護者の意向にも耳を傾けていただきたい。
	11	教育相談や生徒理解につとめ、いじめ等、問題の早期発見と適切な対応が行われている。	4.2	<b>4.2</b>	4.4	<b>4.3</b>		4.8	<b>4.8</b>	
	12	保健及び防災に必要な教育環境が整っており、日常的に施設設備の点検整備につとめている。	4.1		4.3			4.6		
V 運営	13	経営方針及び教育目標を明示するとともに、学校評価を適切に行い、学校改革につとめている。	3.9		4.2		<input type="checkbox"/> 職員間の連携が円滑に行われていくよう、分掌間・学年間にとらわれない横断的な業務の連携を推進する。	4.6		
	14	分掌・学年及び職員間の連携が図られ、相互に協力して課題解決につとめている。	3.3	<b>3.7</b>	4.0	<b>4.1</b>		4.8	<b>4.7</b>	
	15	ホームルーム活動の充実が図られ、健全な社会人としての資質・能力の育成につとめている。	3.9		4.2			4.8		
VI 連携	16	後援会・PTA等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営につとめている。	4.0		4.3		<input type="checkbox"/> ホームページを見やすく分かりやすい形に改善した。今後も改善に努め、外部への情報発信強化を図る。	4.6		<input type="checkbox"/> 今後も地域・保護者との連携を重視する学校であることを期待している。
	17	学校から情報を発信するとともに、保護者や地域住民の要望等の把握につとめている。	3.8	<b>4.0</b>	4.3	<b>4.3</b>		4.6	<b>4.6</b>	
	18	学年・学級からの情報発信が充実しており、担任と保護者との連携・協力が図られている。	4.1		4.4			4.6		
VII 他	19	時間外勤務解消に向けた実効性のある取組が行われている。	2.9	<b>2.9</b>	4.1	<b>4.1</b>	<input type="checkbox"/> 客観的に職員の勤務時間を把握し、時間外勤務の縮減に向けた業務の見直しや取組方法の改善に取り組む。	4.6	<b>4.6</b>	